

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ふれあいの家 清和苑

**目標達成計画書**

作成日: 平成 27 年 11 月 27 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるような、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	開設時の理念を、見やすい場所に掲げているが職員の異動や離職等で、理念の唱和や意義について、職員一人ひとりが意識するまでの体制が整っていないので、今後、職員全員に理念が浸透するように取り組んでいく。	毎日の申し送りや職員会議等で理念の唱和や、理念について話し合い、職員一人ひとりが理念の意義を理解し、利用者本位の介護の実践に取り組んでいく。また、日常的な介護が理念に基づいて実施されているかを確認して取り組んでいく。	12ヶ月
2	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議のメンバーが体調不良等で、参加人数が少なくなっているため、新しく知見者や有識者、地域で活躍されている方、複数の民生委員等に委員の要請をして、ホームの運営が発展していくように取り組んでいく。	運営推進会議が充実して来れば、地域との信頼関係も築かれるので、参加委員を募り、ホームの運営と、利用者や家族の安心に繋がる会議を実施し、家族の参加を要請し、有意義な運営推進会議にしていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。